

新年のご挨拶

独立行政法人日本学生支援機構

理事長 遠藤 勝裕

Katsuhiko Endo

新年明けましておめでとうございます。

日頃より学生支援にご尽力されている皆様に敬意を表しますとともに、本機構の事業に格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新年を迎え、決意を新たに機構の諸事業に取り組んでまいりたいと思いますので、本年も引き続き、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

昨年、我が国は東日本大震災による甚大な被害を受け、現在復旧・復興に向けて全力を傾注しています。本機構では、被災した日本人学生及び外国人留学生に対する各種支援策を講じてまいりましたが、一日も早い、被災者の皆様の生活の安定及び復興を願うとともに、より良い学生支援サービスの提供を目指し、誠心誠意努力してまいりたいと考えております。

さて、本機構は、我が国の留学生政策の大きな指標である「留学生 30 万人計画」の実現に向け、留学生の受入れ及び派遣の充実に資する様々な留学生支援事業を行っております。

外国人留学生の受入れ促進に向けては、外国人留学生が経済的に安定した状態で勉学に励むことができる環境を作るための奨学金事業として、私費外国人留学生等学習奨励費給付制度、留学生交流支援制度（短期受入れ及びショートステイ）による経済的支援を行っております。

また、海外では、在外日本公館や国内外の教育機関等と協力の上、「日本留学フェア」を実施し、留学希望者の方に直接、日本留学に関する最新の情報を提供しております。

ウェブサイト上では、日本留学情報提供のワンストップサービスの展開を目指すため、「日本留学ポータルサイト」において4言語により豊富な情報を提供しております。

さらに、「Japan Alumni eNews」を定期的に配信し、元留学生だけでなく、日本留学希望者や現在日本に留学中の者に対しても、様々な情報提供を行っております。

一方、日本人学生の海外留学促進に向けては、第二種奨学金（海外及び短期留学）や留学生交流支援制度（長期派遣、短期派遣及びショートビジット）による経済的支援を行うとともに、各国の在日公館等と協力の上、「海外留学フェア」を開催し、海外留学に関する正確な情報の提供を行っております。

なお、上述の留学生交流支援制度（ショートステイ、ショートビジット）は、平成23年度からの新規事業で、大学間交流協定等に基づく3カ月未満の留学プログラムで留学する学生に奨学金を支給する制度です。この制度は、国際的な視野を有する学生の育成を促進するとともに、大学等の国際化を活性化することを目的としています。また、短期間の留学経験が、将来学位取得を目的とした長期留学へつなげる契機となることも期待されています。

世界の潮流として各国の学生の流動性が高まる中、我が国では、東日本大震災やそれに伴う原発事故がもたらした緊急事態が、外国人学生の一時的日本留学離れを引き起こし、留学生の獲得に影響を与えていると思います。日本人学生の海外留学についても、経済的発展が長期的に低迷する中で、費用の負担、日本の就職環境等の理由から、長期に亘る留学を避ける傾向にあることが社会問題となっています。

本機構では、国の留学生政策を先導する中核機関としての立場から、日本留学・海外留学の促進に向けて積極的に取組んでまいりたいと思っております。日本人学生及び外国人留学生が安心して勉学に専念できる環境づくりを進め、留学生交流の活性化に資するべく努力してまいります。

以上、年頭にあたりまして、本機構の留学生支援事業の概略を申し上げます。役員一同、これまで以上に皆様のご期待に応えることができるよう努めて参りますので、皆様方におかれましても、引き続き学生支援にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。